

わかくさ



8.7 台風一過

台風5号が通過。若草園には被害がなく、ホッとしました。近くの土佐西南大規模公園から四万十川が太平洋に注ぐ様子。濁った川の水が海へと広がっていました。



健全な子どもに



清秋の候、澄み切った空に心も晴れ晴れとしております。皆様におかれましてはお健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

夏のあいだは暑さで外に出るのをつい避けていたものですが、子ども達というと暑さも関係なく元気に過ごしていた印象です。ゲーム機やパソコン、テレビに夢中になる生活スタイルが問題になっていますが、比較的、園の子ども達は外に出て遊ぼうとする子どもが多いのではと思います。セミ、トンボ、バッタを汗だくになって必死に探し回る子、空が暗くなるまでバスケットをする子、自転車を乗り回して遊ぶ子、釣りに行く子、学校の自由プールに行く子などさまざま。各ホームがキャンプも計画して、土佐清水市、愛媛県愛南町、中土佐町と各地のキャンプ場に行き楽しみました。そんな元気パワーな姿を目の当たりにして、子ども達はかならず健全に育ってくれるのではと期待と安心を感じています。

子ども達が日々刻々と成長していく姿を見て、さまざまなことを教えられています。子ども達の気持ちにまだまだ応えられていないかもしれませんが、寄り添い共に成長していきたいと思えます。

これからも皆様のご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

朝夕冷えてまいります。体にはくれぐれもお気をつけてください。



主任児童指導員
個別対応職員

瀧澤 勝

育児相談窓口

児童家庭支援センター
わかくさ

でんわ (0880)
33-0258
24 時間
365 日無料

各ホームキャンプ報告

夏休み、子ども達の一大イベントの1つにホーム単位でのキャンプがあります。今年は合同で実施したホームがありました。

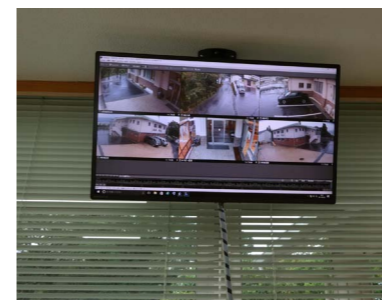
- 8. 2 (木)～ 3 (金): 平野&具同ホーム@愛南町須ノ川
- 8.10 (木)～ 11 (金): A&Bホーム @ 土佐清水市竜串
- 8.28 (月)～ 29 (火): Cホーム @ 中土佐町大野見

子ども達の夏休み中は長期帰省や学校登校日など重なるので、キャンプ日程の取り方には工夫が必要でした。大野見は四万十川の源流域で、キャンプをしている時に釣をしている方々と交流する事が出来て、焼いた魚をいただきました。それぞれ、楽しい思い出をつくる事ができました。

7.15 下田子ども夏祭り
今年も下田保育所・小中学校と協力して、地元の夏のイベントを実施しました。



5.25 防犯カメラ設置完了
近年、入所型施設が犯罪に巻き込まれる痛ましい事件が続発しています。高知県の補助金事業にて録画式カメラを構内に設置しました。



8.30 伊豆杯
故・伊豆保育士が園内で普及させてくださった百人一首競技カルタ大会をこの夏も開催しました。



誕生日会
子ども達1人1人が分かれて生活している各ホームで、アットホームな誕生日会をもっています。



しゃぼんだま飛んだ
ふんわり、ふわふわ、風に揺られて飛んでいく虹色のしゃぼんだま。幼児が追いかけると、なおかわいい。



第65回高知県高等学校技術競技会

家畜審査競技肉用牛部門で最優秀賞を受賞

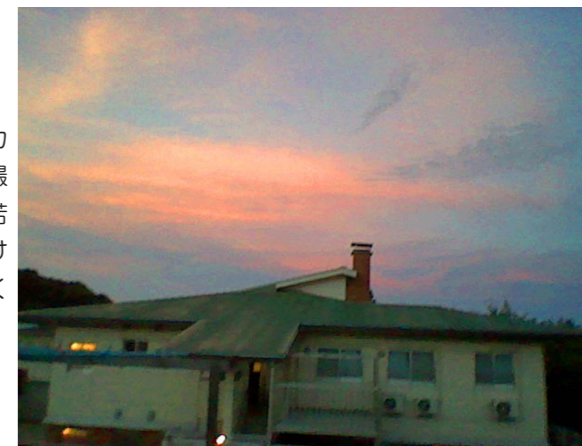
幡多農業高校アグリサイエンス科に通うR子さんが8月14日、右の大会で栄誉に輝きました。今年5年に一度の通称「和牛オリンピック」が開催される事から、高知県代表として宮城県にも遠征しました。仙台港の近くの「夢メッセみやぎ」には全国から延べ41万7千人が集まり、高校生の部・家畜審査競技に参加しました。全国の壁は厚く、賞は逃しました。

幡多農では写真のジャージー、ホルスタインの他に土佐あかうしも飼育しています。

和牛の祭典 2017
第11回 全国和牛能力共進会
開催！
全国のブランド牛が宮城に集結！
5年に一度の和牛日本一決定戦！
平成29年9月7日(木)～11日(月)
夢メッセみやぎ / 仙台市中央卸売市場食肉市場
幡多農で牛の世話をするR子さん

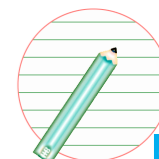


児童が撮影した風景
最近は携帯電話やゲーム機にもカメラ機能があり、写真がすぐに撮れる便利な時代になりました。若草園の子どもが、「ホームの夕焼け風景を写したよ」と、投稿してくれました。



作文コーナー

児童が夏休みに書いた



たのしいスイカ
下田小4年 マスクちゃん
今日スイカを食べた。半分は切ってスプーンですくって食べた。食べ終わった後、スプーンでくりぬいてお面を作った。ハロウィンにしていた。おいしかったし楽しかったです。



若草園の本園は下田にあり、ここには子ども25人が生活しています。すぐ近くには平野ホームがあり、そこでは5人。子ども達は下田小中学校とそれぞれの高校へ通学しています。また、具同ホームには4人の子どもがおり、具同小、中村西中(現在、中学生は居ません)、それぞれの高校へ通学しております。幼児は行政の都合によって中村幼稚園へ通っています。

虫取り少年の夏2

若草園 事務 瀬戸雅弘



去年の最大の獲物は「カブトムシ」でしたが、今年は何と「オニヤンマ」でした。記念撮影の時「笑って」と言うと、「この真剣な顔で撮って」との事で、歯を見せないこの表情になりました。



自由研究の延長上で調べてみれば、オニヤンマは日本に生息する最大のトンボで、昆虫全体の中でも最大級と言われている。肉食性で、時にはスズメバチさえ捕食することがあるそうです。スズメバチの被害が度々報告されていますが、トンボ王国四万十で、オニヤンマが増えて、害虫を駆除してくれたり良いですね。

少年はこの他に、バッタ、ナツアカネ、時には事務所の網戸に張り付いたセミも採集しました。



ベビー月の月の記

ベビールームでの「ほのぼの」を集めました。

エピソード①

ある時、3歳のN子ちゃんが「ヘリコプター」と呼ぶので、どこに飛んでいるのだろうと思って一緒に行けば意外なところを指差しました。あなたはヘリコプターを見つけられますか？



エピソード②

花瓶に挿したお花の名前を教えている時。「ラ・ベン・ダ・ー。覚えた？」と尋ねれば、「まてんだ〜?」。日頃、おやつやごはんの「いただきます」を待てるのは、だれ〜?



児童養護施設、自立援助ホーム、ファミリーホーム、里親家庭を退所し、自立生活をしている方で、困っている事はありませんか？ お気軽に相談してください。

Tel (090)5912-1785

専門相談員 岡崎光子

9:00 ~ 17:00 (緊急の場合は24時間対応します)

<< 無料 >> (通話料はかかります)



平成29年度上期 (H29. 4. 1 ~ H29. 9. 30)

ご寄付一覧表

皆様に心から感謝申し上げます。

< 50音順・敬称略 >



*寄付物品

魚富
岡山
小椋茂昭
黒岩将 (2回)
佐田政美
茂子・ビュー (Shigeko E Vu)
四万十市シニアネットワーク
四万十市社会福祉協議会経由
曾根商店 (2回)
田中則明 (2回)
日本PTA全国協議会
畑中
パチンコホームラン (2回)
プラムラワット日本事務局
細川秀信
増田幸一
水野小百合
南寿吉
宮村和輝
メイヤの木 望月和弘
山崎
山本正
龍馬ふくし看護専門学校
⇒23人 27口時価総額 ¥102,673

*寄付金

青木浩
植田葬儀社
大塚紀美
小椋茂昭
ガーデンパーティー参加者3名
黒岩将
佐竹幸重 (さたけ小児科)
澤田敬
四国岩谷産業(株)中村 (営)
下田小学校
白木保険事務所
すみれ薬局
田中則明
戸田隆造・美鈴
野並嘉好 (サイクルのなみ)
藤原啓正
増田裕税理士事務所
山本琴一
⇒20人 ¥287,000

*ボランティア

高知 保護 観 察 所
→機関誌発送作業
四万十わかば更生保護女性会→ 同上
四万十市教育委員会 ALT →英会話
(株)日本公文教育研究会
→運営指導
(福)栄光会 理事 矢野川研
→児童学習指導



オレンジリボンマーク

【平成29年度虐待防止標語】
いちはやく 知らせる勇氣 つな

封のチラシをご覧下さい。

それぞれのイベントについては同

トを派遣して参加します。

持たれます。若草園からもパネリス

秀賞授与をはじめ、さまざまな講師による講演、分科会が

推進全国フォーラム in こうち」が高知市文化プラザかる

ぼーとなどで開催されます。この大会では左記の標語の最優

また、10月28日(土)〜29日(日)「子どもの虐待防止

受け付けると共に、様々な啓発活動にも取り組んでおりま

す。

センターわかくさ」では育児・子育てに関する相談などを日々

待防止推進月間」です。今年も高知県ではこれにあわせてオ

11月は厚生労働省が平成16年から実施している「児童虐

ふせごう!なくそう!子ども虐待!!

4

編集後記



若草園には数ヶ所、ツバメが巣をかける。安全な場所と鳥が判断したので、幸運な事だ。自然の生き物には危険予知能力が備わっていて、大地震の前に避難をしていたと言う話も聞く。ツバメが巣を作っていると「当面この家は安全なのだ」と、お墨付きをもらった気になる。▼糞害に憤慨する一面もあるが、小さな命を預かる児童養護施設としては歓迎。その巣、どう考えても出来上がり小さいのだ。そこに5羽も生まれて過密状態。何度か巣から雛が転落した。ある職員は別の巣の空き状況を見て、引越させしたが、それはそれで良いのかしら? まるでホトトギスのような所業。別の親に育てさせるようになる。▼落ちた子が玄関先で迷子になって、また戻す。何度か繰り返された。▼ある時、一斉に園庭を飛び交うツバメの群れを見た。30羽ほどだろうか。アニメの主題歌で鳩が一斉に飛び立つ絵のように、ぐるぐると園庭を回った。まるでデモ・フライトいや、私達に御礼のパレードのように。▼そして、翌日。どの巣にも、誰も居ない。この中の誰かが、また来年、ここで子育てに戻って来るのだろうか。(せと)